

まちの ニュース



両県の観光関係者や観光客による鏡開きで山開きを祝いました

八幡平の安全と観光振興を願い山開き

岩手県と秋田県にまたがる八幡平（1613[㍎]）の山開きは4月28日、八幡平見返り峠駐車場で行われました。

当日は雲一つない好天に恵まれ、山岳関係者や観光関係者など、約1000人が式典に出席。一年間の登山者の安全と観光客の増加を祈願しました。

式典で田村正彦市長は「観



訪れた観光客へ特産品の清流寿しを振る舞いました

光振興は連携が重要です。八幡平市と鹿角市との連携を深め、より良い関係にしていきたい」とあいさつし、八幡平地域の発展を願いました。

山開きの神事に引き続き、両県の観光関係者などによる鏡開きや、山岳協会によるピッケル交換、テープカット、もちまきなどを行い、山開きを祝いました。

山頂レストハウスでは、市特産のニジマスの押しずし「清流寿し」と、鹿角市特産の八幡平ポークの豚汁を振る舞いました。訪れた観光客は、美しい青空と雪景色とともに、両県の味覚を堪能しました。

桜も雪の回廊も八幡平を丸ごと楽しむ

八幡平の桜と雪の回廊を楽しむ「八幡平さくらと残雪まつり」は、4月28日から5月6日までの9日間、松尾八幡平ビクターセンター周辺を主会場に、道の駅にしねや安比高原など、市内多数の会場で開催されました。

このまつりは、5月の大型連休中に毎年行われているもので、今年で5回目。今回からは主会場の松尾八幡平ビジ

ターセンターだけでなく、市内で同時期に開催されているイベントを連携し、さらなる誘客を図ろうというものです。それぞれの会場ごとに特色ある地元特産品の販売、散策ツアーなどが人気を集め、たくさんの観光客でにぎわいました。

観光客は、八幡平の豊かな恵みと雄大な自然を楽しみました。



↑道の駅にしねでは、もちつき大会などが行われました

←各会場は、親子連れなど大勢の観光客でにぎわいました（写真は松尾八幡平物産館）

八幡平にも春の訪れ、雪の回廊が開通

八幡平に春の幕開けを告げる八幡平アスピーテライン（10・6キ）と八幡平樹海ライン（16・2キ）の開通式は、4月26日に八幡平アスピーテラインのゲート前で行われました。ゲート前には、開門を待ちわびる観光客が、遠くは大阪府など県内外から多数詰め掛けました。

両ラインは、凍結の恐れがあるため、当分の間は午後5時から翌日の午前8時半まで、夜間通行止めになります。



テープカットで開通を祝いました

郷土の安全を守る消防団員の辞令交付

市民の生命と財産を守る、市消防団の辞令交付式は4月26日、市役所大会議室で行われました。

昇任者41人に加えて、新入団員20人の辞令を交付。新入団員を代表し、阿部正陽さんが宣誓。渡辺東六団長は「それぞれの分団において消防の使命を自覚し、活躍を期待する」と訓示しました。

団員たちは、地域の安全は自らの手で守ろうと、思いを新たにしています。



渡辺団長から新入団員などへ辞令を交付

東大更学童保育クラブは、4月9日に東大更小学校体育館2階のミーティングルームに開設されました。

同クラブは、東大更小学校と渋川小学校に通う児童が対象。児童が放課後に安心して遊びや勉強をして過ごす場として提供しています。

クラブの定員は、1〜3年生の児童を対象に30人。利用時間は、放課後から午後6時半まで。共働きなどで保護者が不在になる児童が対象です。

東大更小学校に学童保育クラブを開設



開所式では、みんなと仲良くすることを約束しました



安心できる地域はみんなの手でつくりましょう

4月6日から15日までの春の地域安全運動に合わせ、市防犯隊は啓発活動を行いました。

期間中の10日には、マックスバリュ西根店前で隊員など11人が出動して、買い物客にチラシやポケットティッシュを配布。車上狙いや自転車盗難などに気を付けて、しっかりと施錠するよう呼び掛けました。買い物客は防犯意識も新たに、気を引き締め直していました。

安全なまちづくりはみんなの自覚から

平館高・西根中が交通安全モデル校に

岩手警察署、北岩手交通安全協会、市は4月24、25の両日、平館高校と西根中学校にそれぞれ交通安全マナーアップ指定校の指定書を交付しました。この指定は、地域の交通安全の模範となり、安心安全なまちづくりに寄与することを目的としています。指定期間は2年間です。



吉田聖岩手警察署長から平館高校に指定書を交付

一人前の漆器職人を目指し修行の道へ



安比塗りの技を習得しようと意欲を燃やす研修生

安代漆工技術研究センターの入所式は、4月9日に安代総合支所で行われました。入所したのは(写真左から)この春浄法寺高校を卒業した立花裕さん(目名市)、元銀行員で市出身の田山佑さん(滝沢村)、元設計者の平岡正弘さん(大阪府)の3人。漆器職人の養成機関は全国でも珍しく、授業料は無料。これまで39人が同センターを巣立ち、県内外で腕を振るっています。

市スポーツ少年団の結団式は4月22日、松尾地区体育館で団員や関係者など約250人が参加して行われました。式典では、活動を通じて健康な体と心を養い、目標に向けて努力することなどを誓う、日本スポーツ少年団団員綱領を全員で斉唱。各少年団に認定書が授与されました。団員たちは、大会上位入賞や技術向上など、それぞれの目標に向けて意欲を高めていました。



それぞれの少年団に認定書が手渡され、今年の活動を開始

目標に向けて全力投球！スポ少結団式



山火事防止パレードに出発する広報車両

3月10日から5月31日までの期間、「伝えたい森のやさしさ火のこわさ」を統一標語に行われている山火事防止月間の一環として、4月20日に盛岡地区山火事防止パレードが実施されました。パレードに先立ち、西根地区体育館前で出発式が行われ、各方面に向けて県や市町村などの広報車両12台が出発。連休にかけて、山に入る人が増えることから、より一層の山火事防止を呼び掛けました。

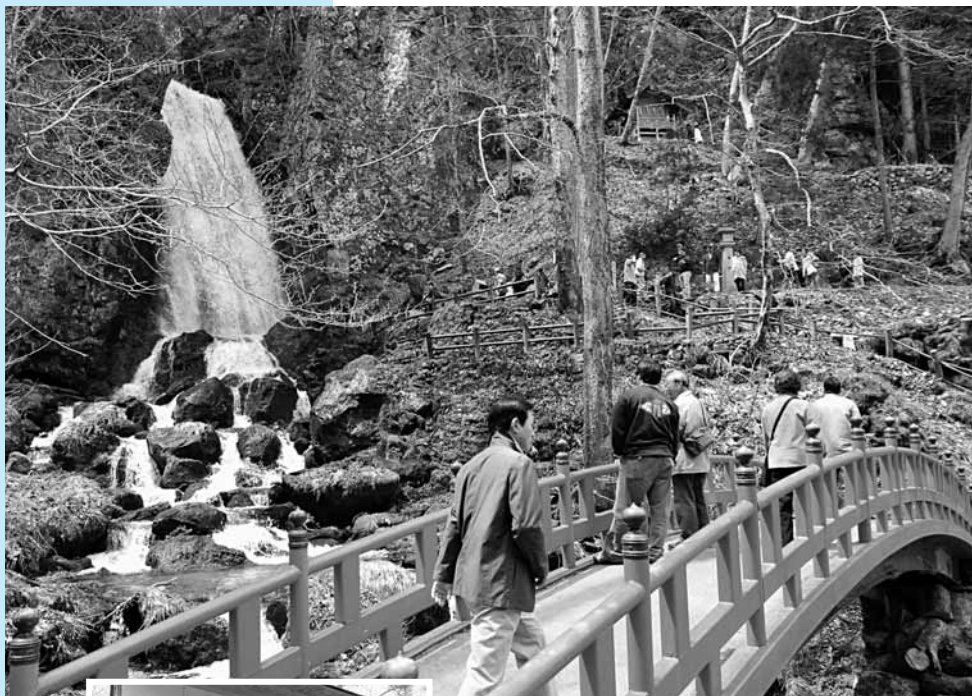
山火事防止を呼び掛けるパレード出発

感動の絶景に大満足、不動の滝まつり

安代地区に春の観光シーズン到来を告げる桜松公園・不動の滝まつりは、5月3日に桜松公園で開催されました。日本の滝百選にも選ばれ、古くから山伏の修行の滝として信仰を集めてきた不動の滝を参拝しようと、県内外から

多数の観光客が訪れました。田村正彦市長は「地域の皆さんと一緒に、このまつりを盛り上げていきたい」とあいさつしました。会場では、商工会などによる出店が軒を連ね、特設ステージでの歌謡ショーや、

じゃんけん大会などの催しで会場は大いに盛り上がりました。

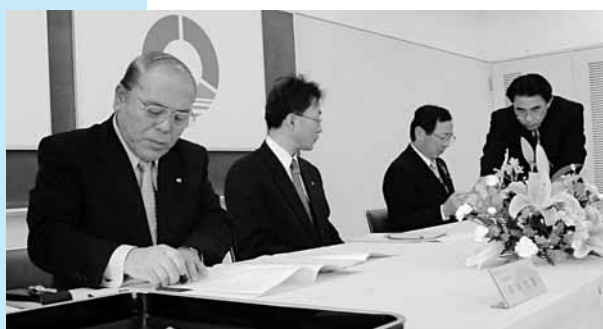


↑訪れた観光客は、不動の滝への参拝や記念写真などを撮り、美しい光景を楽しみました

←特設ステージでのじゃんけん大会に、子どもたちは大喜び

市の第三セクターの八幡平温泉開発株式会社が所有する、八幡平トラウトガーデンの譲渡先として、健康機能水の製造・販売業の株式会社エコワ（深川忠義代表取締役社長、本社東京都中央区、資本金3億8311万円）が決定し、4月19日に市役所大会議室で工場立地協定書の調印式が行われました。

調印式では、深川社長と田村正彦市長が協定書に調印しました。田村市長は「民間のアイデアを生かして、八幡平地域の観光が盛り上がることを



深川社長と田村市長が、工場立地協定書に調印しました

期待します」と歓迎のあいさつ。深川社長は「八幡平市に根を下ろして、トラウトガーデンや健康水事業を核に、地域の人に喜んでもらえる事業を展開したい」と力強く抱負を述べました。

株式会社エコワは、昭和63年創業。健康機能水の製造・全国販売を手掛けるほか、関東地域で人材教育・派遣業などを展開しています。

トラウトガーデンは、既存施設を活用して4月20日から営業を再開。10人の従業員は継続雇用し、健康水事業の再開とともに増員を予定しています。

株式会社エコワが工場立地協定に調印



握手をする（左から）斉藤淳夫県企業立地推進課参事兼総括課長、深川社長、田村市長、瀬川健則市議会議長